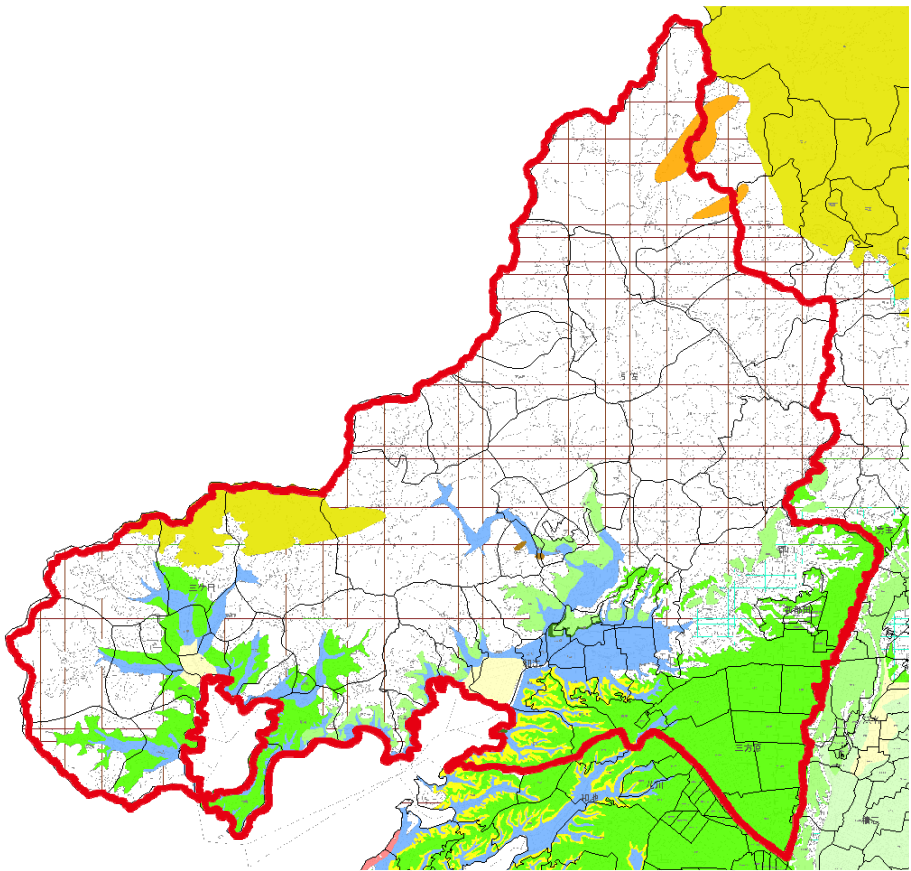


1. 北区の自然条件

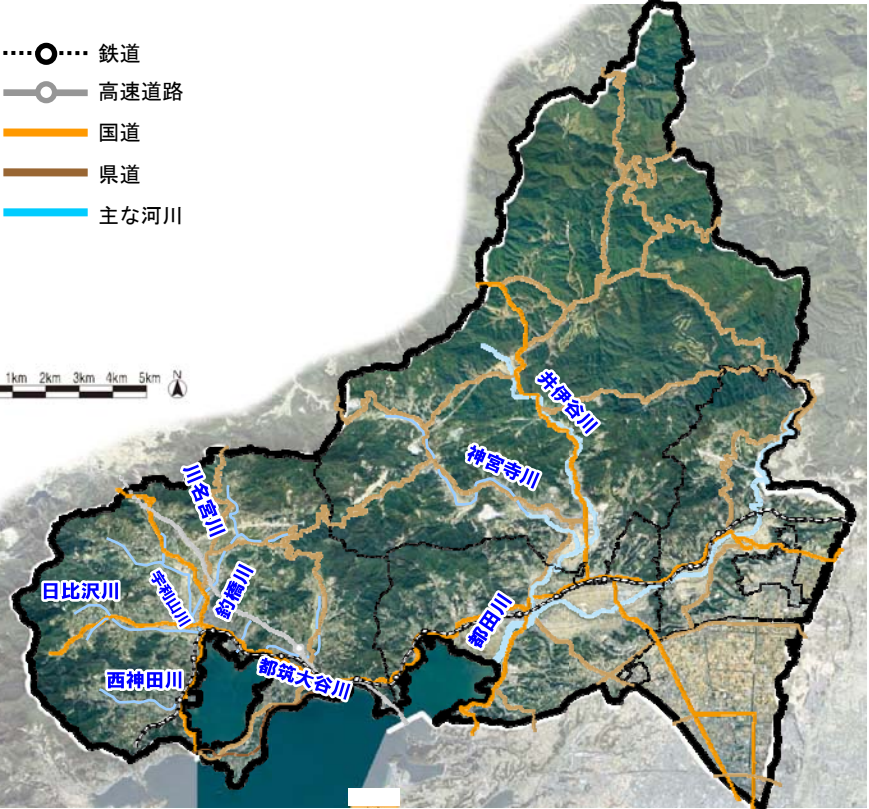
		特 徴
気 象	気 温	・年平均気温が 15～16℃程度と県内でも温暖な地域であり、特に浜名湖沿岸部では冬季において、他の地域と比較して気温が高い傾向にあります。また、県内において日照時間も長い地域です。
	降 雨 量	・年平均降水量 1,900～2,200mm 程度と県平均より少ないですが、晴天日が多い割に年降水量が多いという特徴があります。 ・引佐地区では急峻な地形に南寄りの湿った気流が上昇し、豪雨をもたらす地形性降雨の発生がみられます。
	風 向 ・ 風 力	・冬季に北西季節風（遠州の空っ風）が激しく吹きます。特に引佐細江（細江湖）から都田川を通過し、狭隘な地形を昇る風が強く吹きます。
地 形	細 江	・北部は丘陵地の台地によって形成されており、中央部は都田川と井伊谷川により形成された沖積低地が広がります。
	引 佐	・山地が広く分布し、主な低地は南部の谷底低地などに限られます。これら山間盆地周辺においては地すべりの危険性の高い場所が分布しています。
	三 ヶ 日	・猪鼻湖に流入する河川の谷底低地と山麓緩斜面により形成されています。
	三 方 原	・三方原台地の急峻な崖地となっています。
地 質	細 江	・都田川沿いの段丘は、河川の運搬による堆積層であり、泥を主とした軟弱地盤となっています。
	引 佐	・地区の北を走る中央構造線にほぼ平行（北東-南西方向）に地質構造が形成されており、古生層の比較硬い岩石により構成されています。
	三 ヶ 日	・浜名湖を古生層の段丘が取り囲み、段丘の下は砂泥質の低地となっています。
	三 方 原	・三方原台地の地盤は強固ですが、台地周辺の上部の礫層は崩れる恐れのある地層となっています。

※沖積低地：約 1 万年前から現在までに河川の運ぶ堆積物が堆積してきた低地で、地盤が軟弱で地震による液状化が比較的発生しやすい地形

- 沖積世 埋地
- 沖積世 泥質地盤
- 沖積世 砂泥質地盤
- 沖積世 泥砂礫質地盤
- 沖積世 砂質地盤
- 沖積世 礫～砂礫質地盤
- 洪積世 低位段丘堆積物(礫層)
- 洪積世 中位段丘堆積物(礫層)
- 洪積世 中・高位段丘泥質堆積物
- 洪積世 高位段丘堆積物(礫層)
- 洪積世 最下部洪積層
- 新第三系 シルト岩、砂岩および礫岩
- 新第三系 古第三系・白亜系
- 新第三系 古生層
- 石灰岩
- 変成岩



第三次被害想定 表層地質図（資料：浜松市防災マップ）



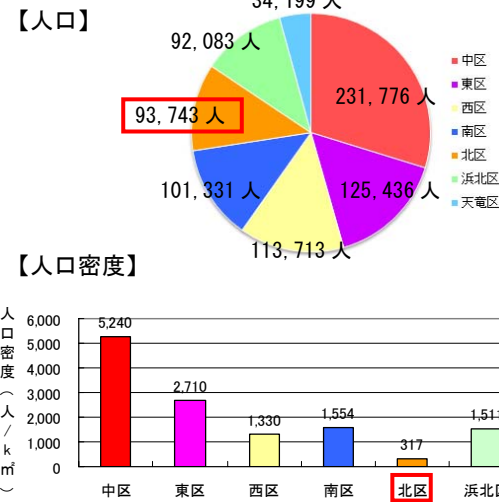
北区的主要河川

- 【沖積世 泥質地盤】
 - ・地下水位が高く、緩いところでは液状化現象が発生する恐れがある。
- 【沖積世 砂泥質地盤】
 - ・地下水位が高く、緩いところでは液状化現象が発生する恐れがある。
- 【沖積世 泥砂礫質地盤】
 - ・軟弱地盤のところが多い。
- 【沖積世 礫～砂礫質地盤】
 - ・比較的強い地盤である。
- 【洪積世 低位段丘堆積物(礫層)】
 - ・締まった地盤であり問題はないが、風化が進んだ部分では注意が必要である。
 - ・また、斜面崩壊の恐れがある。
- 【沖積世 中位段丘堆積物(礫層)/中・高位段丘泥質堆積物】
 - ・締まった地盤でほとんど問題はなく、良好な基礎地盤であるが、風化が進んだ部分では注意が必要である。
- 【新第三系 古第三系・白亜系/新第三系 古生層】
 - ・全体に硬い岩石からなる地盤である。しかし、断層により弱くなっている部分や風化土層の厚いところ及び山地斜面では、地すべり・山崩れを起こす恐れがある。
- 【変成岩】
 - ・非常に硬い地盤である。しかし、薄く平行に割れやすくなっている部分もあり、風化土層の厚いところや山地斜面では地すべり・山崩れに注意が必要である。

2. 北区の社会環境

①人口・世帯

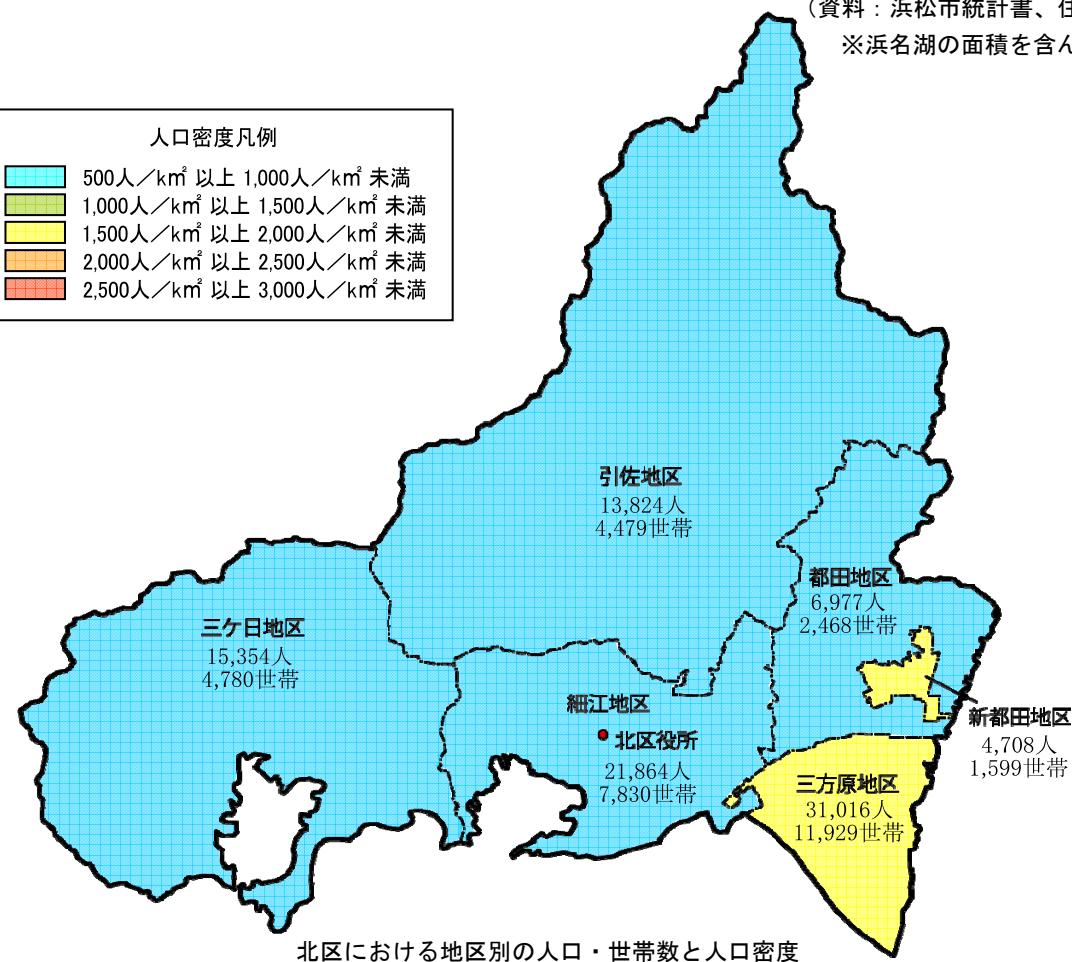
- ・北区は6地区に分かれ、人口は約 93,700 人となっています。
- ・地区別の人口密度は、工業団地が立地する「新都田地区」と中区に隣接する「三方原地区」において高くなっており、山間地が広がる「引佐地区」において最も低くなっています。
- ・本市の中では、天竜区に次いで2番目に人口密度が低い地域です。



■北区における地区別の人口・世帯数

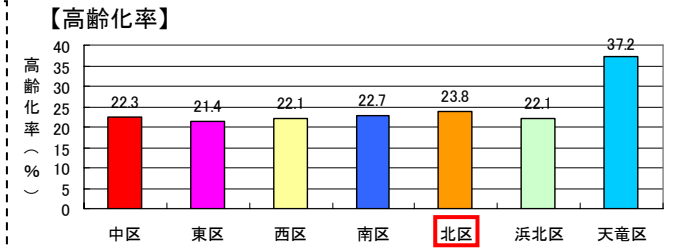
	三方原地区	都田地区	新都田地区	細江地区	引佐地区	三ヶ日地区	合計
地区面積 (km ²)	16.27	28.05	2.43	34.18	121.04	93.61	295.59
人口 (人)	男	15,462	3,460	2,356	10,663	6,776	46,282
	女	15,554	3,517	2,352	11,201	7,048	47,461
	合計	31,016	6,977	4,708	21,864	13,824	93,743
世帯数 (世帯)	11,929	2,468	1,599	7,830	4,479	4,780	33,085
人口密度 (人/km ²)	1,906.1	248.7	1,935.2	639.7	114.2	164.0※	317.1

(資料：浜松市統計書、住民基本台帳)
※浜名湖の面積を含んだ人口密度



②高齢化率

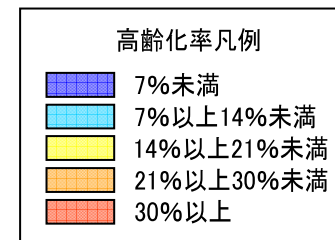
- ・北区全体の高齢化率は約 23.8%で、市平均値を若干下回っています。
- ・地区別に比較すると工業団地が立地する「新都田地区」で約 11%と最も低く、「引佐、三ヶ日、都田地区」で 26~28%と市平均値を上回っています。



■北区における地区別の年齢別人口と高齢化率

	三方原地区	都田地区	新都田地区	細江地区	引佐地区	三ヶ日地区	合計	備考
年齢別人口 (人)	15歳未満	4,579	877	914	3,041	1,519	12,716	
	15~64歳	19,928	4,255	3,300	13,492	8,445	58,755	
	65歳以上	6,509	1,845	494	5,331	3,860	4,233	
	合計	31,016	6,977	4,708	21,864	13,824	15,354	93,743
高齢化率 (%)	21.0	26.4	10.5	24.4	27.9	27.6	23.8	浜松市 24.5%

(資料：住民基本台帳)



※一般的には高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口の割合)によって以下のように分類される。

- ・高齢化社会 : 7~14%
- ・高齢社会 : 14~21%
- ・超高齢化社会 : 21%以上



2. 北区の社会環境 (その2)

③ 災害に関する施設配置

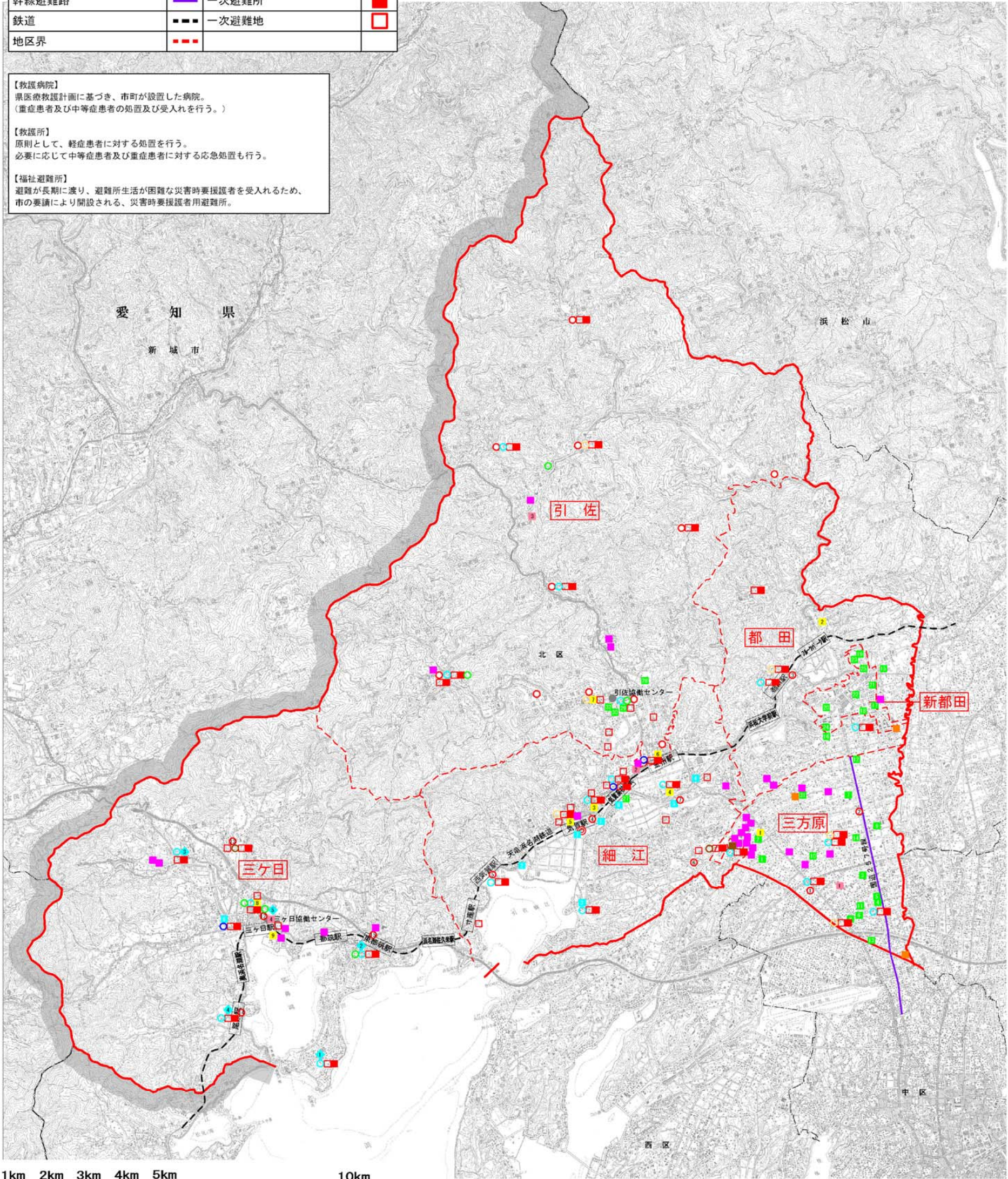


防災関係機関	○	福祉避難所 (公共施設)	■
応急救護所	○	福祉避難所 (民間施設)	■
幼稚園	○	開設公園	■
小学校	○	ヘリポート	■
中学校	○	救護病院	■
高等学校	○	水防倉庫	■
消防団分団詰所	○	防災倉庫	■
福祉関連施設 (保育園・老人ホーム)	○	消防団倉庫	■
広域避難地	◆	消防署	■
耐震性防火水槽	◆	警察署	■
幹線避難路	—	一次避難所	■
鉄道	—	一次避難地	■
地区界	—		■

【救護病院】
県医療救護計画に基づき、市町が設置した病院。
(重症患者及び中等症患者の処置及び受入れを行う。)

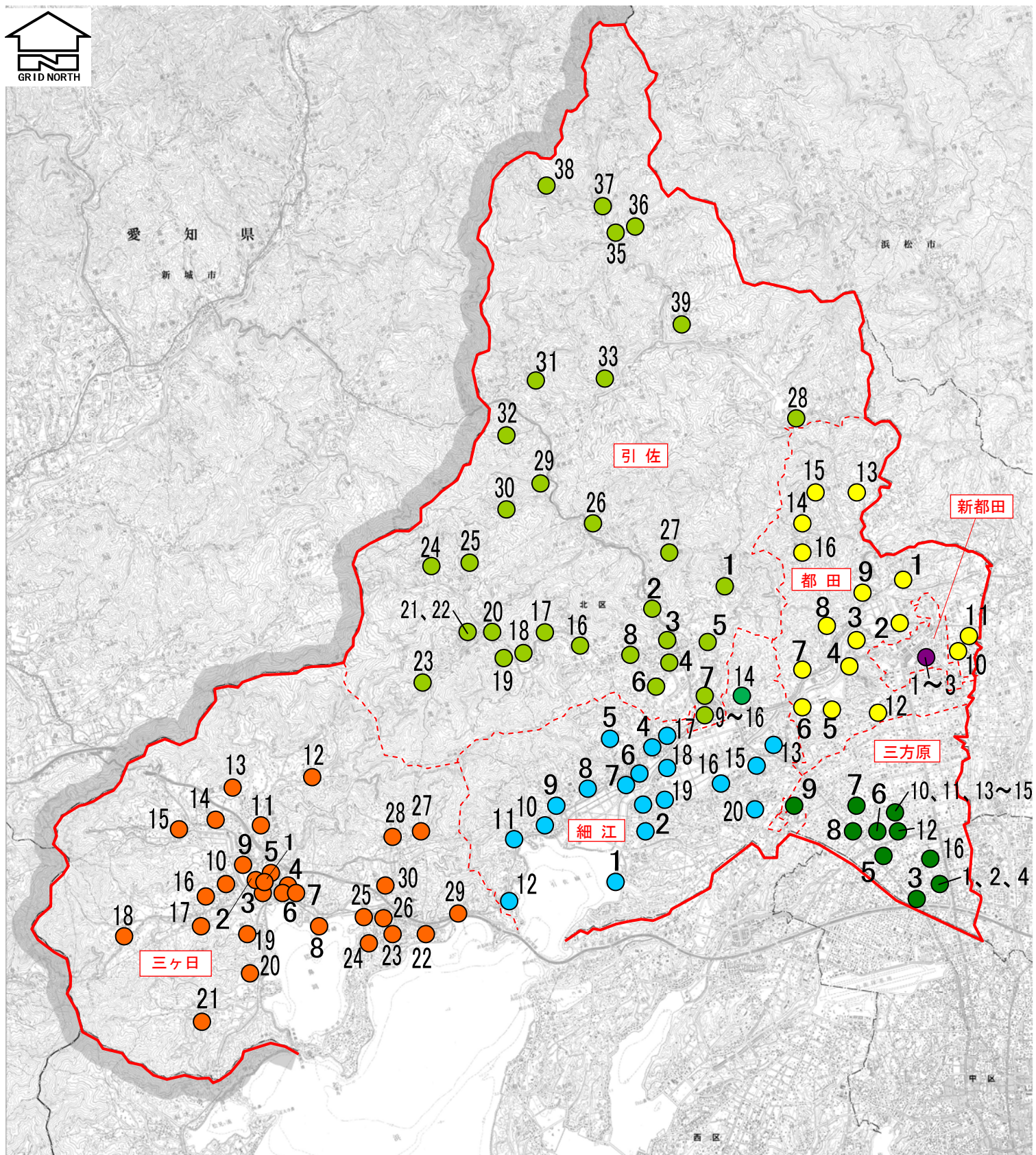
【救護所】
原則として、軽症患者に対する処置を行う。
必要に応じて中等症患者及び重症患者に対する応急救護も行う。

【福祉避難所】
避難が長期に渡り、避難所生活が困難な災害時要援護者を受入れるため、
市の要請により開設される、災害時要援護者用避難所。



④ 自主防災隊

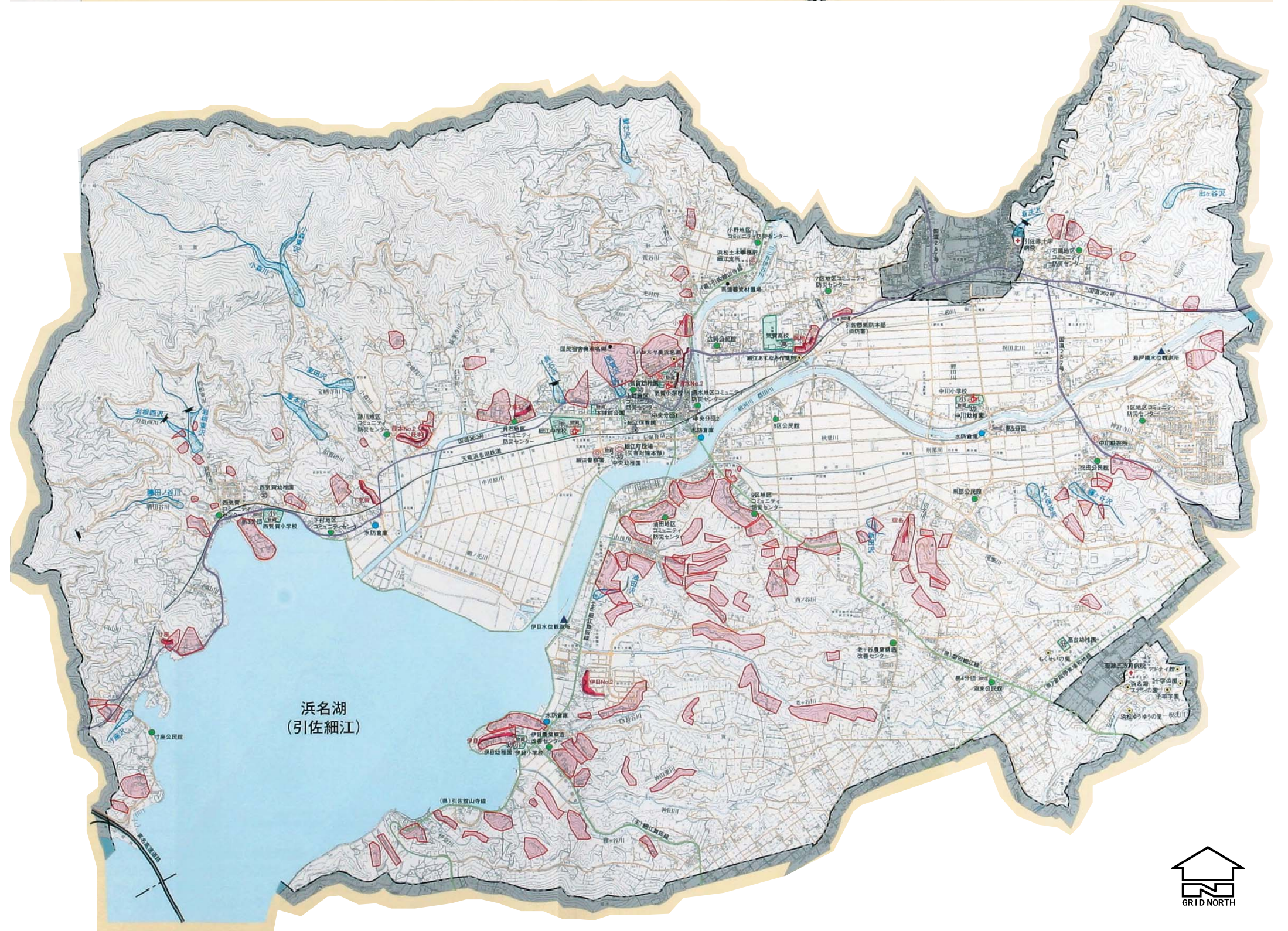
三方原	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	自主防災隊名	初生町南	初生町中	初生町追分	初生町北	三方原町三方原南	三方原町三方原	百園	百里園	三方原町聖隷	三方原町清水	根洗町	東三方町	豊岡町	大原町	三幸町	東三方町官舎
	世帯数	870	440	500	1,905	1,010	700	620	440	61	377	908	500	500	210	585	146
都田	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	自主防災隊名	都田町川山	都田町新木	都田町横尾	都田町谷上	都田町中津	都田町一色	都田町吉影	都田町中野	都田町須部	都田町沢上	都田町白昭	都田町前原	滝沢町東	滝沢町西	滝沢町	鷺沢町
	世帯数	102	21	75	37	270	27	59	131	47	297	125	321	92	49	39	26
新都田	図面番号	1	2	3													
	自主防災隊名	新都田二丁目	新都田三丁目	新都田五丁目													
	世帯数	593	350	658													
細江	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	自主防災隊名	伊目	老ヶ谷	油田	広岡	小野	清水	上町	呉石	跡川	下村	中区	寸座	1区	石岡	祝田	刑部
	世帯数	570	239	560	156	341	292	502	183	120	137	246	112	898	363	582	220
	図面番号	17	18	19	20												
	自主防災隊名	7区	8区	9区	湖東												
引佐	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	自主防災隊名	三岳	花平	3区	4区	5区	6区	7区	東四村	金指10区	金指11区	金指12区	金指13区	金指14区	金指15区	金指16区	西四村
	世帯数	43	102	169	207	125	335	370	208	108	135	81	160	63	100	84	133
	図面番号	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
	自主防災隊名	馬門	中村	小斎藤	尾沢	奥山区	門前	富幕	狩宿	谷沢	伊平	兎荷	川名	東黒田	西黒田	田沢	的場四方浄
三ヶ日	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	自主防災隊名	上神	下神	西町	東町	西天	東天	宇志	津々崎	岡本	御菌	摩訶耶	只木	大福寺	長根	平山	釣
	世帯数	117	113	160	95	235	185	237	93	121	90	95	80	140	92	140	79
	図面番号	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	自主防災隊名	日比沢	本坂	鶴代	下尾奈	上尾奈	新田	南平	西平	野地	北平	大崎	大谷	佐久米	駒場		
世帯数	147	106	196	277	88	92	194	73	153	153	326	159	130	53			



⑤ハザードマップ

【細江地域自治体ハザードマップ】

- ・細江地区の中心部の居住地に隣接して「急傾斜地崩壊危険箇所」や「土石流危険区域」の指定がみられます。
- ・また、中心部に近い場所に「急傾斜地崩壊危険区域」の指定地も分布しています。



凡例 (土砂災害危険箇所・山地災害危険地域)
 Legend (Landslide danger spots, High disaster risk mountainous area)

〈土石流〉 Debris slide	
	国道及び高速道路 (緊急輸送路) National roads and expressways (emergency transport routes)
	主要地方道・一般県道 Major local roads, ordinary prefectural roads
	町道 Town road
	土石流危険渓流 Debris slide high-risk mountain stream
	土石流危険区域 Debris slide high-risk zone
	砂防えん堤 Debris slide barrier
〈地すべり〉 Landslip	
	地すべり危険箇所 Landslip danger spot
	地すべり防止区域 (指定地) Landslip prevention zone (designated area)
〈かけ崩れ〉 Landslide	
	急傾斜地崩壊危険箇所 Landslide danger spot on steeply inclined land
	急傾斜地崩壊危険区域 (指定地) Landslide danger zone on steeply inclined land (designated area)
	急傾斜地崩壊防止施設 (擁壁・法枠等) Landslide prevention installations on steeply inclined land (support walls, grid-frames, etc.)

*危険箇所は、地形解析及び現地調査によって把握されたものです。マップに表示している場所以外でも、土砂災害が発生する可能性があります。



【引佐地域自治体ハザードマップ】

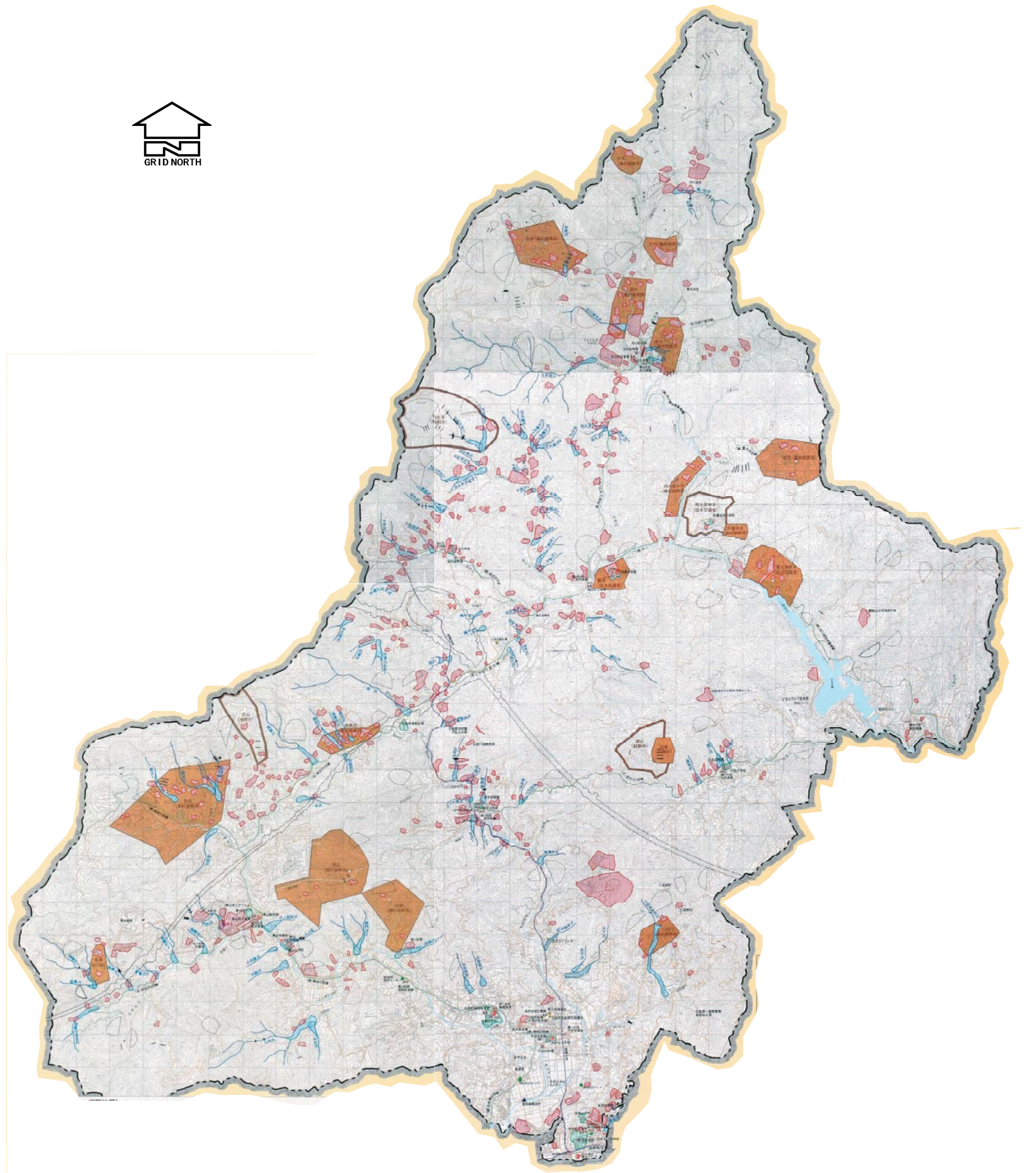
- ・主要な河川や道路に沿って、「土石流危険区域」や「地すべり防止区域」の指定が広範囲に渡り分布しています。
- ・また、盆地に立地した集落の周辺においても広範な「地すべり防止区域」の指定がなされています。



凡例 (土石災害危険箇所・山地災害危険地域)
 Legend (Landslide danger spots, High disaster risk mountainous area)

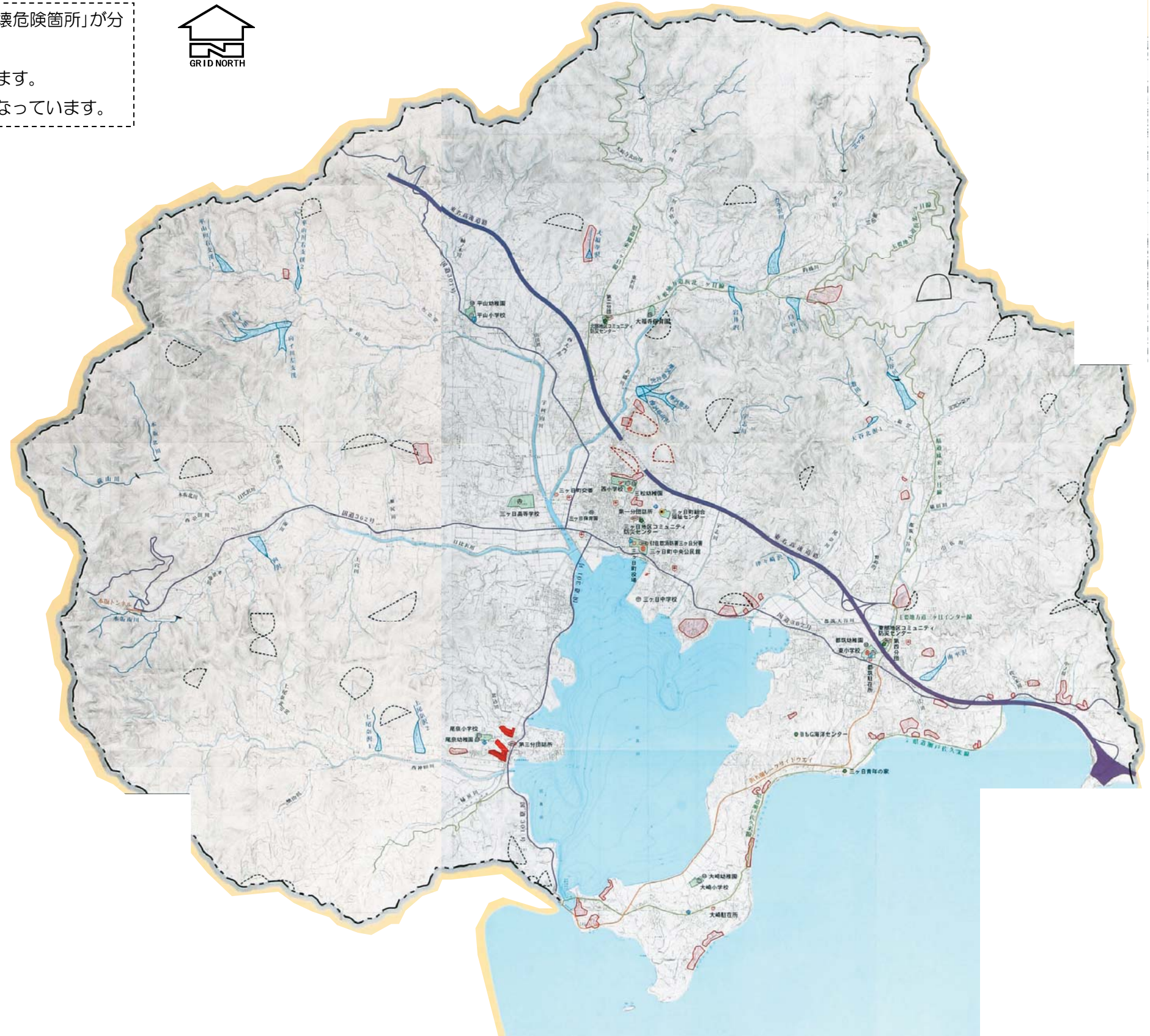
〈土石流〉	
Debris slide	
	国道及び高速道路 (緊急輸送路) National roads and expressways (emergency transport routes)
	主要地方道・一般県道 Major local roads, ordinary prefectural roads
	町道 Town road
	土石流危険渓流 Debris slide high-risk mountain stream
	土石流危険区域 Debris slide high-risk zone
	砂防えん堤 Debris slide barrier
	治山えん堤 Debris slide barrier
	治山施設 Forestry conservancy facility
〈地すべり〉	
Landslip	
	地すべり危険箇所 Landslip danger spot
	地すべり防止区域 (指定地) Landslip prevention zone (designated area)
〈かけ崩れ〉	
Landslide	
	急傾斜地崩壊危険箇所 Landslide danger spot on steeply inclined land
	急傾斜地崩壊危険区域 (指定地) Landslide danger zone on steeply inclined land (designated area)
	急傾斜地崩壊防止施設 (擁壁・法枠等) Landslide prevention installations on steeply inclined land (support walls, grid frames, etc.)
	大規模崩壊危険斜面 危険度Ⅱ Slope in danger of large-scale collapse: Danger level 2
	大規模崩壊危険斜面 危険度Ⅲ Slope in danger of large-scale collapse: Danger level 3
	大規模崩壊危険斜面 危険度Ⅳ Slope in danger of large-scale collapse: Danger level 4

※危険箇所は、地形解析及び現地調査によって把握されたものです。マップに表示している場所以外でも、土石災害が発生する可能性はあります。



【三ヶ日地域自治体ハザードマップ】

- ・三ヶ日地区の中心部では「大規模崩壊危険斜面」と「急傾斜地崩壊危険箇所」が分布しています。
- ・また、一部の地域で「急傾斜地崩壊危険区域」が指定されています。
- ・本区のうち他の地区に比べて危険区域等の指定は比較的少なくなっています。

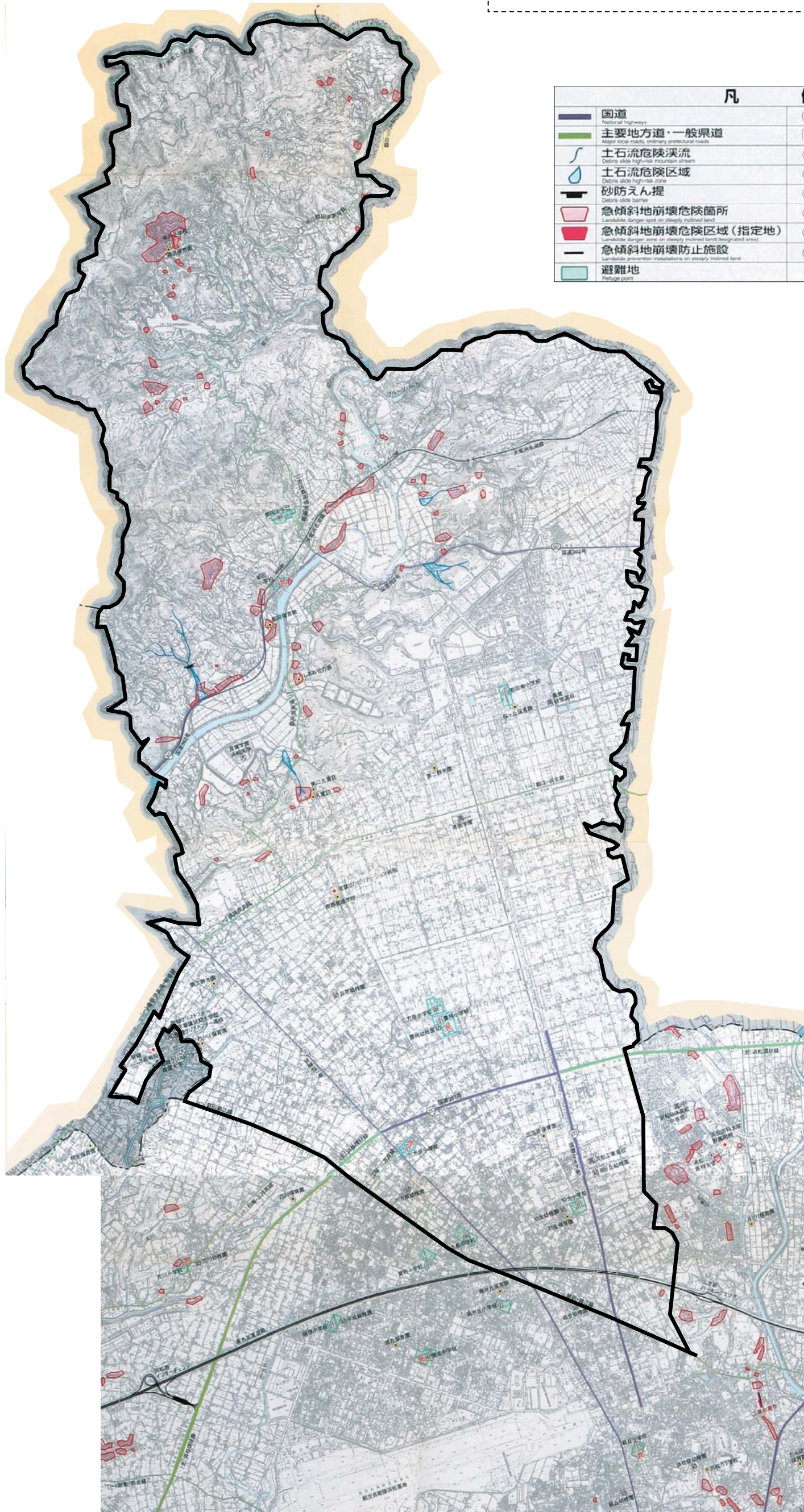


凡例(土砂災害危険箇所・山地災害危険地域) Legend(Landslide danger spots/High disaster risk mountainous area)	
<土石流> Debris slide	
	国道及び高速道路(緊急輸送路) National roads and expressways(emergency transport routes)
	主要地方道・一般県道 Major local roads, ordinary prefectural roads
	有料道路 Toll road
	土石流危険渓流 Debris slide high-risk mountain stream
	土石流危険区域 Debris slide high-risk zone
	砂防えん堤 Debris slide barrier
<がけ崩れ> Landslide	
	急傾斜地崩壊危険箇所 Landslide danger spot on steeply inclined land
	急傾斜地崩壊危険区域(指定地) Landslide danger zone on steeply inclined land(designated area)
	急傾斜地崩壊防止施設(擁壁・法枠等) Landslide prevention installations on steeply inclined land(wall/retaining frame, etc.)
	大規模崩壊危険斜面 危険度Ⅱ Slope in danger of large-scale collapse: Danger level 2
	大規模崩壊危険斜面 危険度Ⅲ Slope in danger of large-scale collapse: Danger level 3
	大規模崩壊危険斜面 危険度Ⅳ Slope in danger of large-scale collapse: Danger level 4

※危険箇所は、地形解析及び現地調査によって把握されたものです。
マップに表示している場所以外にも、土砂災害が発生する可能性はあります。

【浜松北自治会ハザードマップ（都田、新都田・三方原台地）】

・都田地区を流れる都田川沿いを中心に「急傾斜地崩壊危険箇所」や「土石流危険区域」が分布しています。

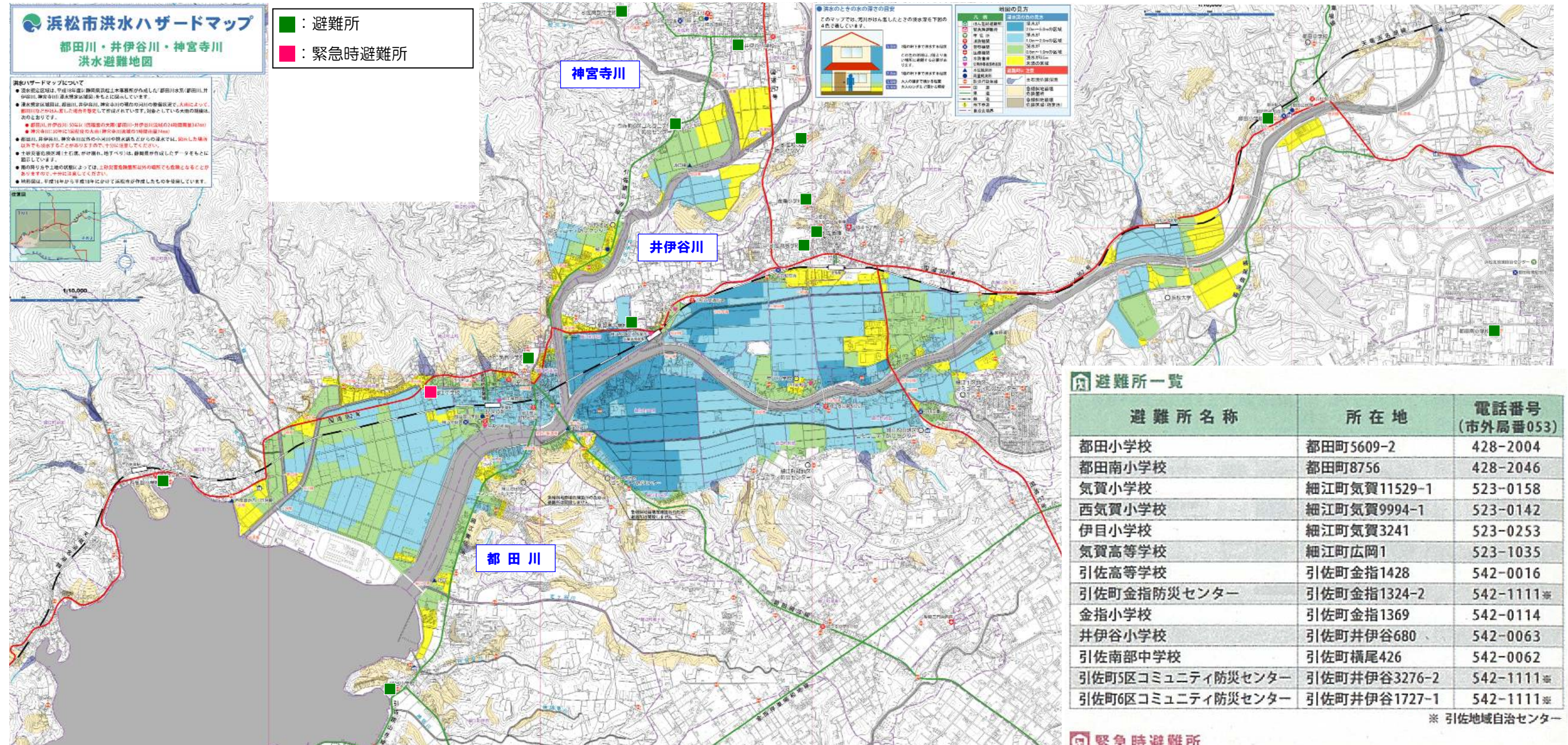


凡	例	Legend
国道 National highway	防災関係機関 (浜松市役所、浜松土木事務所) Disaster prevention-related facility (Hamamatsu City Office, Hamamatsu Civil Engineering Office)	
主要地方道・一般県道 Major local road, ordinary prefectural road	応急救護病院 First Aid Hospital	
土石流危険渓流 Debris flow danger stream	救護所 First Aid Station	
土石流危険区域 Debris flow danger zone	幼稚園 Kindergarten	
砂防えん堤 Debris side barrier	小学校 Elementary school	
急傾斜地崩壊危険箇所 Landslide danger spot on steeply inclined land	中学校 Junior high school	
急傾斜地崩壊危険区域 (指定地) Landslide danger zone on steeply inclined land (designated area)	高等学校 High school	
急傾斜地崩壊防止施設 Landslide prevention installation on steeply inclined land	大学 University	
避難地 Refuge point	福祉関連施設 (老人ホーム・保育園) Welfare-related facility (Nursing home, Daycare center)	



【洪水ハザードマップ（都田川・井伊谷川・神宮寺川）】

- ・都田川、井伊谷川が50年に1回程度の大雨（都田川・井伊谷川流域の24時間雨量347mm）、神宮寺川が30年に1回程度の大雨（神宮寺川流域の1時間雨量74mm）による氾濫を想定した場合の浸水区域は以下のようになっています。
- ・特に都田川と井伊谷川の合流地点周辺において浸水深2.0～5.0mと想定されています。また、細江地区の中心部においても1.0～2.0mと想定されています。



「洪水時緊急避難施設」は、浸水位が深い場所に立地しているため施設の低い階は使用できず、「避難が遅れた人が緊急的に利用する施設」として指定されています。（2階より上の階のみ使用可）

避難所一覧

避難所名称	所在地	電話番号 (市外局番053)
都田小学校	都田町5609-2	428-2004
都田南小学校	都田町8756	428-2046
気賀小学校	細江町気賀11529-1	523-0158
西気賀小学校	細江町気賀9994-1	523-0142
伊目小学校	細江町気賀3241	523-0253
気賀高等学校	細江町広岡1	523-1035
引佐高等学校	引佐町金指1428	542-0016
引佐町金指防災センター	引佐町金指1324-2	542-1111※
金指小学校	引佐町金指1369	542-0114
井伊谷小学校	引佐町井伊谷680	542-0063
引佐南部中学校	引佐町横尾426	542-0062
引佐町5区コミュニティ防災センター	引佐町井伊谷3276-2	542-1111※
引佐町6区コミュニティ防災センター	引佐町井伊谷1727-1	542-1111※

※ 引佐地域自治センター

緊急時避難所

避難所名称	所在地	電話番号 (市外局番053)
細江中学校	細江町気賀7300-1	523-0166

万が一逃げ送れた場合の緊急時避難所として2階より上へ避難してください。出来る限り早めの避難を心掛け、他の施設へ避難するようにしてください。

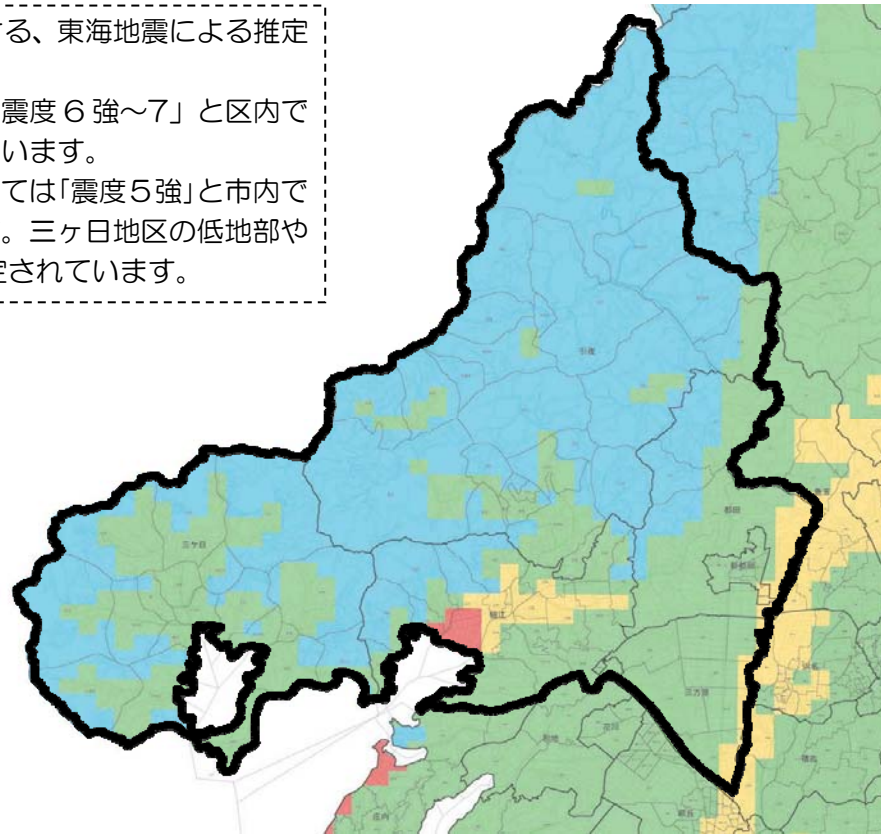
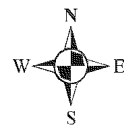
⑥地震被害想定（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

【推定震度分布】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定震度分布は下図のとおりです。
- ・都田川の河口部及びその沿線で「震度6強～7」と区内で最も高い震度となると想定されています。
- ・引佐、三ヶ日地区の山間部については「震度5強」と市内でも比較的低い震度となっています。三ヶ日地区の低地部や三方原台地では「震度6弱」と想定されています。

凡例

- 推定震度分布
震度階級
- 7
 - 6強
 - 6弱
 - 5強

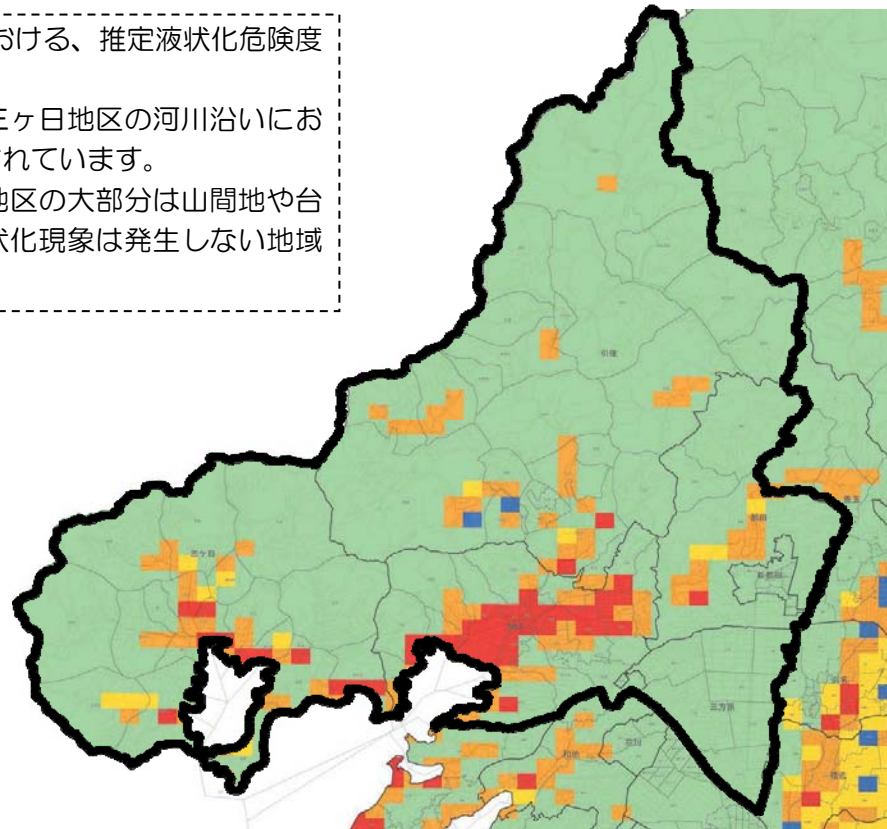
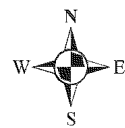


【推定液状化危険度】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、推定液状化危険度は下図のとおりです。
- ・細江地区の都田川沿いおよび三ヶ日地区の河川沿いにおいて危険度「中～大」と想定されています。
- ・一方、引佐、三ヶ日、三方原地区の大部分は山間地や台地であるため、砂層がなく液状化現象は発生しない地域です。

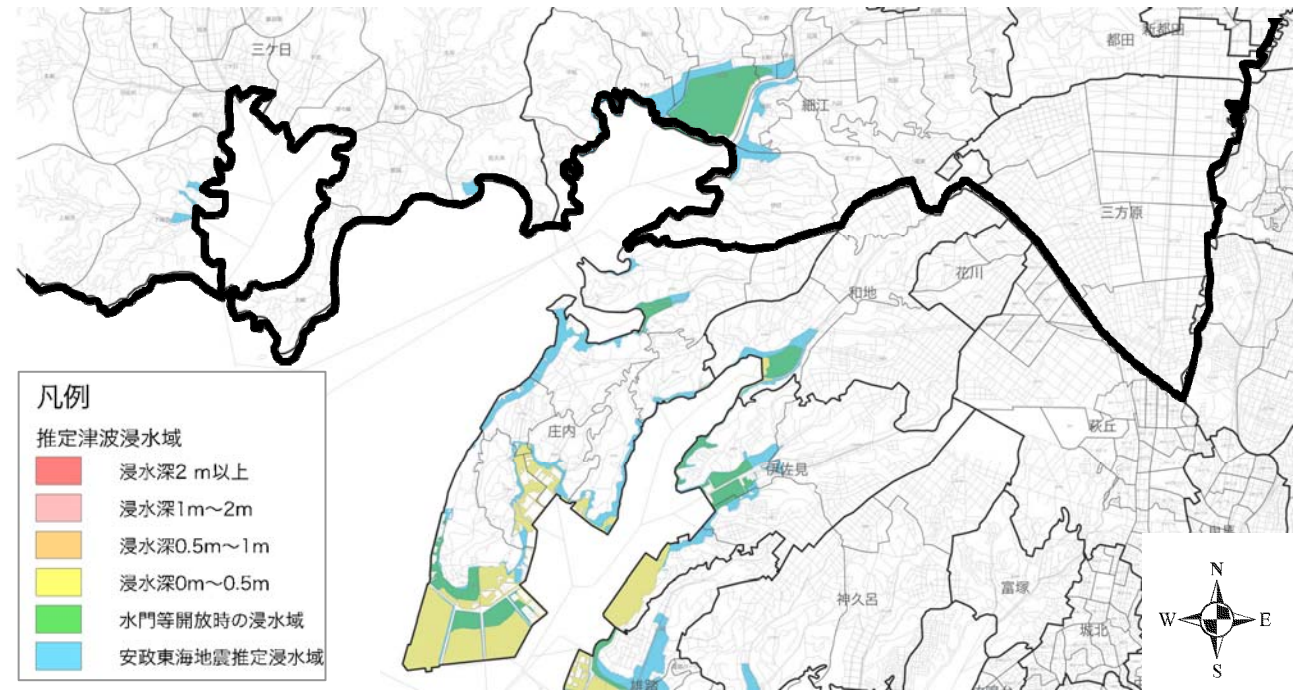
凡例

- 推定液状化危険度
- 大
 - 中
 - 小
 - なし
 - 岩盤



【推定津波浸水域】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、推定津波浸水域は下図のとおりです。
- ・東海地震時の津波による浸水は想定されていませんが、「安政東海地震」時には細江地区の低地部と三ヶ日地区の一部で浸水があったとされています。
- ・また、水門等開放時には細江地区の低地部で浸水すると想定されています。



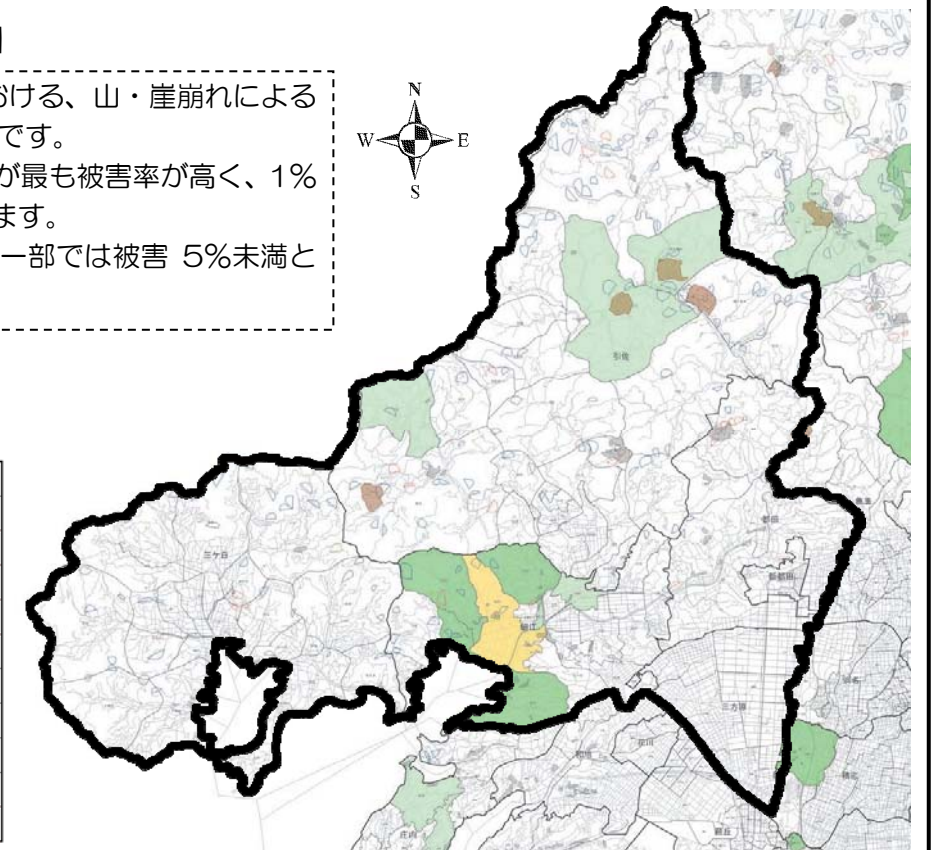
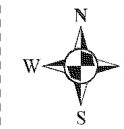
凡例

- 推定津波浸水域
- 浸水深2 m以上
 - 浸水深1m～2m
 - 浸水深0.5m～1m
 - 浸水深0m～0.5m
 - 水門等開放時の浸水域
 - 安政東海地震推定浸水域

【山・崖崩れによる推定建物被害率】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、山・崖崩れによる推定建物被害率は下図のとおりです。
- ・区内では細江地区の市街地周辺が最も被害率が高く、1%以上10%未満と想定されています。
- ・また、引佐地区や三方原地区の一部では被害5%未満と想定されています。

- 山・崖崩れ被害対象外
- 被害率が1%未満
- 被害率が1%以上5%未満
- 被害率が5%以上10%未満
- 被害率が10%以上20%未満
- 大規模崩壊危険箇所危険度極大(ランクI)
- 大規模崩壊危険箇所危険度大(ランクII)
- 大規模崩壊危険箇所危険度中(ランクIII)
- 大規模崩壊危険箇所危険度小(ランクIV)
- 地すべり危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所



3. 北区における過去の災害履歴

- ・昔から都田川、井伊谷川による水害や、大地震に伴う津波が発生してきました。
- ・近年でも、浜名湖周辺で風水害に伴う高潮や山崩れが発生しています。

■北区における既往災害履歴 (1/2)

西暦	和暦	災害	被害概要	地震	風水害	津波・高潮	土砂災害
1447	文安 4	大風	・遠江国摩訶耶寺(三ヶ日地区)の堂舎が破損		○		
1498	明応 7	明応地震 (推定 M=8.2~8.4)	・高瀬・宝田(三ヶ日地区)の集落で数百戸のうち7戸のみ残ったといわれている ・津波高さは佐久米・津々崎(三ヶ日地区)で3~4m ・浜名湖南部では30ha余が海なり、溺死者1万人余と推定	○		○	
1643	寛永 20	大風・大水	・天竜川堤堰切れる ・井伊谷・高地ヶ谷(引佐地区)の両堤も切れる		○		
1662	寛文 2	東海道・関東大水	・天竜川・井伊谷川氾濫により堤防決壊(引佐地区)		○		
		都田川洪水	・下都田村で死者17人、瀬戸村で5人		○		
1674	延宝 2	諸国で風水害 天竜川洪水	・兎河村(引佐地区)で沢渡の人押し流す		○		
1675	延宝 3		・引佐町域田畑水押し、濁流によって作物流失(引佐地区)		○		
1676	延宝 4	天竜川・井伊谷川洪水	・川除を破る(引佐地区)		○		
		都田川洪水	・下都田村(都田地区)で死者17人、瀬戸村で5人 ・井伊谷川(引佐地区)で田畑を濁流が押し通る		○		
1693	元禄 6	天竜川大水 暴風雨	・栢窪村大堰落ちる(引佐地区) ・全壊・半壊の家170戸の被害		○		
1699	元禄 12	大風	・家屋500軒ほど破壊(引佐地区)		○		
1701	元禄 14		・引佐郡下3度大水		○		
1705	永宝 2	大風雨 天竜川氾濫 宝永地震 (推定 M=8.4~8.7、震度5)	・谷沢村(引佐地区)でも死者多数 ・気賀(細江地区)の関所御門かたむく、石垣破損 ・【津波高さ】細江で5~6m、気賀で1~2m	○		○	
1711	正徳 1	大風	・引佐郡域村々にて家多数破損(引佐地区)		○		
1728	享保 13	大水	・栢窪村(引佐地区)大堰半分落ちる ・四方浄村(引佐地区)堰大破		○		
1737	元文 2	天竜川満水	・井伊谷、金指(引佐地区)、浜松、庄内の田地被害大		○		
1738	元文 3	大雨(2日間) 天竜川大水	・坂田堤(引佐地区)切れる ・四方浄(引佐地区)堰落ちる		○		
1854	安政 1	安政東海地震 (推定 M=8.4、震度5) 暴風雨 天竜川洪水	・気賀御関所(細江地区)で石垣・土塀が崩れる ・気賀(細江地区)で田畑2800石程度の地が塩水につかる【津波高さ】1~1.5m ・引佐郡都田川栄橋落失	○		○	
1896	明治 29	台風	・引佐・細江沿岸田地に海水入る			○	
1897	明治 30	大雨	・引佐郡井伊谷村(引佐地区)で出水1丈2尺		○		
1898	明治 31	都田川で出水	・被害状況記述なし		○		
1911	明治 44	台風	・引佐郡井伊谷村(引佐地区)で全壊13軒、半壊21軒 ・落合橋で水高5m余、祝田橋・瀬戸橋は流失 ・堤防5箇所決壊		○		
1915	大正 4	都田川大洪水	・引佐地方洪水(引佐地区)		○		
1916	大正 5	台風	・引佐で大水害(道路埋没など)(引佐地区)		○		
1935	昭和 10	高潮	・名湖高潮、田畑・養魚池の浸水など多大な被害 ・引佐郡で床上浸水24戸、床下浸水158戸(引佐地区)			○	
		台風	・引佐郡で被害大(引佐地区)		○		
1944	昭和 19	東南海地震(M=7.9、震度5~6)	・中川で全壊5戸、半壊5戸、気賀で全壊6戸、半壊9戸(細江地区) ・金指で267戸のうち全壊3戸、半壊1戸(引佐地区) ・三ヶ日地区は被害なし	○			
1953	昭和 28	台風13号	・気賀村(細江地区)で流失2棟、半壊19棟、床上浸水207棟、床下浸水399棟		○		

■北区における既往災害履歴 (2/2)

西暦	和暦	災害	被害概要	地震	風水害	津波・高潮	土砂災害
1954	昭和 29	風水害	・床上浸水15戸、床下浸水80戸(三ヶ日地区)		○		
1959	昭和 34	伊勢湾台風	・浜名湖高潮 ・60戸余床下浸水(細江・三ヶ日地区)		○	○	
1961	昭和 36	第2室戸台風	・浜名湖高潮 ・床上浸水7戸、床下浸水45戸(三ヶ日地区)		○	○	
1971	昭和 46	台風23号	・床上浸水62棟、床下浸水502棟、山(崖)崩れ41箇所など(細江・引佐地区)		○		○
1974	昭和 49	七夕豪雨	・死者1人、負傷者5人、全壊21戸、半壊31戸、流失5戸、床上浸水681戸、床下浸水1678戸、堤防20箇所、山崩れ915箇所(細江・三ヶ日地区)		○		○
1975	昭和 50	台風6号	・浜名湖高潮		○	○	
1979	昭和 54	台風20号	・浜名湖高潮 ・床上浸水3戸、床下浸水16戸(細江地区) ・床上浸水11戸、床下浸水58戸(三ヶ日地区)		○	○	

(資料:静岡県史、細江町史、引佐町史、三ヶ日町史、静岡県地震防災センターホームページ)

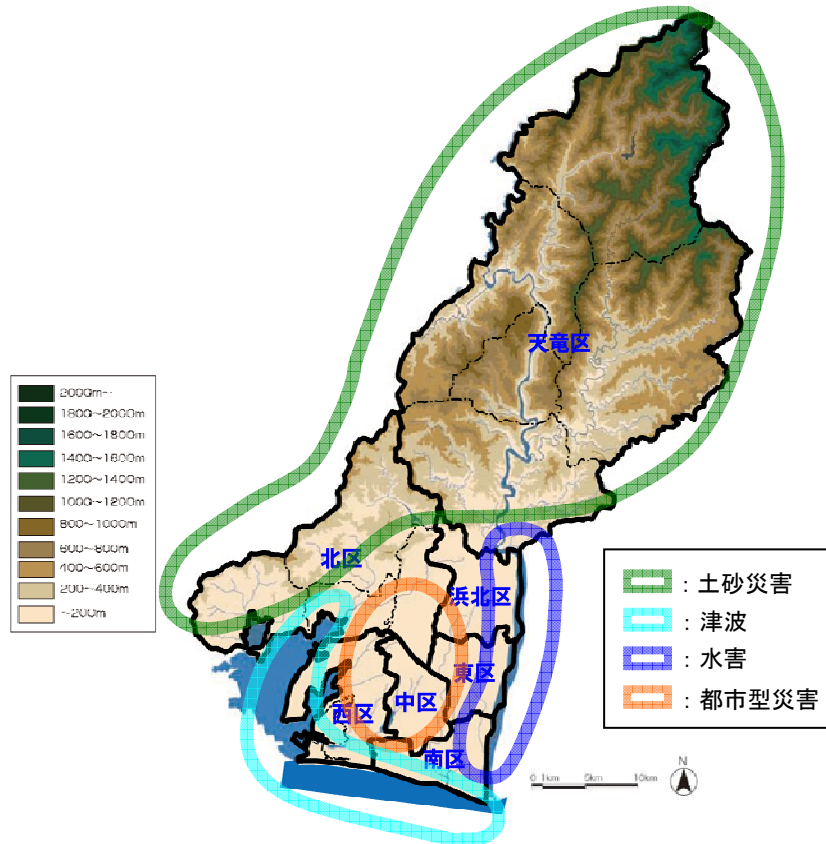
過去の主な災害発生箇所



■北区の災害特性

■浜松市の災害特性と区版避難行動計画策定の進め方

- ・浜松市の災害特性は、地形や市街地の形成過程などから、大きくは下図に示すように、「土砂災害」「津波」「水害」「都市型災害」の4つに分類されます。
- ・区版避難行動計画の策定にあたっては、主に区の特徴的な災害について議論しながら進めます。



各区の災害特性

(資料:浜松市都市計画マスタープラン)

【自然条件】

- ・区を中心部は河川による沖積低地が広がり、周辺の山間地においては谷底低地によって形成されています。

【災害の履歴】

- ・都田川、井伊谷川の氾濫による水害が度々発生してきました。また、大地震時には浜名湖に接する平野部において津波の被害が発生しています。
- ・三方原台地の崖地や山間部においては、台風に伴い山崩れが発生しています。

【ハザードマップ、地震被害推定】

- ・集落地に隣接するように急傾斜地崩壊危険区域や土石流危険区域が指定されています。
- ・都田川、井伊谷川、神宮寺川の氾濫を想定した浸水区域が定められています。

■各区の災害特性一覧

区	地震	水害	津波	土砂災害
中区	◎	○		○
東区	○	◎		
西区	○	○	◎	○
南区	○	○	◎	
北区	○	◎	○	◎
浜北区	○	◎		○
天竜区	○	○		◎